

料金別納
郵便

根来恒子
Tsuneko Negoro

「桃源郷へ御案内」 130号F

Open

Tsuneko Negoro : 50 Years of Art

根来恒子 画業50周年回顧展

- 2025年9月30日(火)～10月5日(日)
11:00～18:00 (最終日は16:00まで)
- 電気文化会館 5階 東・西ギャラリー (愛知県名古屋市中区栄2丁目2-5)

国際展

- ◆ ニューヨーク個展／資生堂・JAL・日本通運協賛、ペンソンギャラリー主催(1989)
- ◆ シドニー個展／日豪文化交流基金主催(1996)
- ◆ ロスアンゼルス個展／名古屋市・ロスアンゼルス市主催(1999)
- ◆ フランス・トゥール展出品(代表に選ばれる 2009)

国内展

- ◆ 二紀展／褒賞(1959)・奨励賞(1960)・佳作賞(1962)・同人賞(1967・1968・1972)・同人努力賞(1973)・女流画家奨励佐伯賞(1982)
- ◆ 安井賞展／2回出品(1962・1969)
- ◆ 国際形象展／出品(1971～1976) [毎日新聞社主催]
- ◆ 朝日美術展／出品(1974～1980) [朝日新聞社主催]
- ◆ 二人展／津市にて三重県教育委員会後援
- ◆ 国内個展／名古屋(11回)・東京(3回)・金沢[中日新聞社主催]・京都・桑名・津(3回)・岡崎(4回)
- ◆ 根来美術館設立(2015)

根来恒子「桃源郷へ御案内」 「美術の窓評」

花魁が一人立って、すこし腰を屈めて鑑賞者のほうを見ている。そばに雪洞ほんまりが立っている。そのあたりは油彩で描かれているのだが、その上方のアーチ形はパッチワークふうにながやかな金襴・緞子の布によって亀甲形の装飾がなされている。画面のいちばん下辺はまさに金襴が付けられている。

画家は花魁というものを、「桃源郷へ御案内」という言葉のとおり、現実の遊女を超えて、精神を解放する女性のスピリチュアルな像としてとらえていることがわかる。

衣装の朱を中心とした極彩色の色彩があでやかである。しかし、ずいぶん色彩は繊細で、緑の色彩を首の周りに置いたり、立っているその下に敷かれている布に、茶色がかかったグレーと青みがかかったグレーの文様の布を置いている。

このあたりの美意識は、日本の意匠、着物の意匠などをよく理解した人でなければできないような装飾的な表現だと思う。

そして、背後の薄青いブルーの、ちょうど簾を垂らしているようなタッチの色面を背景にして、生命そのもののような、いわば人間を解放に招く女神的なイメージとして、赤い衣装をつけた女性の姿が描かれている。



Tsuneko Negoro : 50 Years of Art

根来恒子 画業50周年回顧展

- 2025年9月30日(火)～10月5日(日)
11:00～18:00 (最終日は16:00まで)
- 電気文化会館 5階 東ギャラリー・西ギャラリー
愛知県名古屋市中区栄2丁目2-5 TEL.052-204-1133
- [地下鉄でお越しの方]
東山線・鶴舞線「伏見」駅 4番出口より東へ徒歩2分
- [車でお越しの方]
広小路長島町の信号を南へ30m右側に駐車場入口あり(有料)